

パブリック・コメントの実施結果

- 「清須市パブリック・コメント手続条例」に基づき、第2次清須市地域公共交通計画（案）について、市民意見募集（パブリック・コメント）を実施した。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和7年1月9日（木）から2月7日（金）まで（30日間）

(2) 公表（閲覧）資料

第2次清須市地域公共交通計画（案）

(3) 閲覧場所

市内主要公共施設13箇所

（企画政策課（市役所北館3階）・にしびさわやかプラザ・
にしび創造センター・西枇杷島福祉センター・清洲市民センター・
清洲総合福祉センター・カルチバ新川・新川防災センター・
五条川防災センター・新川福祉センター・春日老人福祉センター・
春日公民館・市立図書館

※閲覧は、各施設の開庁時間内に限る

※市ホームページにおいても公表するとともに、広報清須（1月号）や市公式LINEでパブリック・コメントの実施を周知

(4) 意見提出資格

市内にお住まい、お勤め、在学の方及び事務所又は事業所を有する方

(5) 意見提出方法

氏名（法人名）及び住所を記入のうえ、①郵送②FAX③Eメール④窓口⑤投函のいずれかによって提出

2 実施結果

(1) 意見提出通数

8通

(2) 意見総数

ア あしがるバスの運行について 4件

イ 高齢者や障害者に対する移動支援について 5件

ウ インバウンド対策について 1件

エ 商業施設への移動手段について 1件

オ レンタサイクルについて 1件

カ 道路等の整備について 1件

(3) 意見の内容とそれに対する市の対応

ア あしがるバスの運行について

意見の内容	意見に対する市の対応
特別養護老人ホーム「清洲の里」へ面会、入所見学に行くにも、地元であって、あしがるバスが通っていないため、タクシーか徒歩しか行けない。後期高齢者にとっては難しい。廻間の住宅の住民も困っていると聞いている。早急にコースの変更・改善をお願いします。	あしがるバスのルートの見直しは、市民の皆様からいただいたご意見やご要望のほか、他ルートとの接続や所要時間等の課題を含めて客観的に分析し、検証した上で、清須市地域公共交通会議での協議を経て決定しております。 直近に実施した令和4年度のルート・ダイヤ改正においては、各ルートとの乗継を維持できるよう1便あたり50分程度に設定することを方針としており、他ルートとの接続に影響が出ることから、早急な対応は致しかねます。 なお、本計画に上記のあしがるバスのルート・ダイヤの見直しにおける考え方が記載されていませんでしたので、23ページに記載いたしました。
高齢になって、車や自転車が使えなくなったらと考えると、現在のあしがるバスは使いやすいとは言えません。小地域を回る小まわりのきくあしがる乗用車は可能でしょうか。高齢者が家にとじこもらないようにするためにも、ここに力を入れ、お金と投入してください。	22ページに記載のとおり、あしがるバスは、高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段の確保を目的として運行しており、4ルートのうち3ルートで、小回りがきくハイエース(ワゴン車)で運行することで、地域内を細かく回れるようにしております。
土器野地域は、買物、病院通いも不便で今はかろうじて車を利用していますが、車の免許返納するのも近いと考えています。現在あるあしがるバスもグリーンルートで2時間に1本しかない状態では不便です。 そこで、お願いですが、今現在の「あしがるバス」は清須市内を走っていますが、高齢者になると、市内の遠方まで行くことは少なく、一番利用するのは、近くの病院、買物、公共施設、最寄りの駅です。地域内をぐるぐるまわる小型の乗り物(ワ	便数についても、運行経費の大部分を市の一般財源で賄っていることから、1便あたり50分程度に設定することで各路線との乗継を維持し、移動利便性を確保してまいります。

ゴン車の9人乗りくらい)があれば30分ごとに病院や公共施設を利用できるようになれば良いと思います。ワゴン車を動かすには資金がいりますが、スーパーや病院などから協力金をいただけるようにすることも、お客が増えればできると思います。 高齢化が進むなか、ご検討いただけるようお願いします。	
高齢になりました。自転車に乗れなくなった時の移動手段に不安を感じます。あしがるバスの増便を考えてほしいです。	

イ 高齢者や障害者に対する移動支援について

意見の内容	意見に対する市の対応
地域公共交通ネットワークから少々外れる意見になるかと思いますが、まちづくりと関わり、私宅が関わる交通事情を知っていただきたいとペンをとりました。 私宅は、夫婦2人はともに83歳で夫は介護3の認定、私は身体障害者です。従って、「使えたらいいな」と思っても「あしがるバス」を使うことができません。もちろん、自家用車もなく送迎のお手伝いをしてくれる方も大変忙しい実情です。 ところが、83歳の2人は高齢に伴う身体・精神に関わる認知症が重なり医者通いが頻繁に必要です。そのため、交通手段は「福祉タクシー」ということになり、高額な料金になっても使わざるをえません。 今後清須においても、このような高齢者や障害者は増え続けると思います。「まちづくり・多くの方が喜ばれる」を考えると、このような方に対する支援をどうするか視点が大切だと思います。直	25ページに記載のとおり、障害者に対しては、福祉タクシーも対象としたタクシー料金助成を行っています。一方で、高齢者に対しても、高齢者の日常生活を支える移動手段の確保をすることは、重要な課題の一つであると認識しており、高齢者の方々が、より安心して生活していただける方法を調査・研究してまいります。

接的には、高額になる福祉タクシーの利用料を、市の福祉計画とつなぎ、支援して頂けると大変助かり、必要な時に「よし行こう」と診療を受けられると思います。	
高齢化に伴い、免許証返納者が増えています。我が家も夫が障がいので返納し、あしがるバスのバス停までも行けません。 受診や公共施設への用事には、私が送り迎えしているのですが、私も緑内障で運転が不安になってきました。近隣の稲沢市のように自宅からの通院や買物にタクシー料金の補助をしていただけると有難いのです。	
稲沢市のようにタクシーの半額補助（おでかけタクシー）は、うらやましい限りです。せめて1割2割の補助は清須市でも可能だと考えられます。大回りせず停留所までも行かずにすむことは高齢者にとってやさしい対応です。高齢者が家にとじこもらないようにするためにも、ここに力を入れ、お金と投入してください。	
高齢化が進んでいる清須市では、高齢者や障害者の移動手段確保が課題です。特に公共交通機関の利用が困難な方々に対する移動支援サービスの充実を求めます。	
高齢になりました。自転車に乗れなくなった時の移動手段に不安を感じます。タクシー使用への補助、ライドシェア等を考えてほしいです。	

ウ インバウンド対策について

意見の内容	意見に対する市の対応
交通弱者を主とするあしがるバスの運行は、近頃乗車率も上がっている。ただ、あしがるバスに市外からの観光客を見か	あしがるバスは、市外からの来訪者にも利用していただけるよう、オープンデータを作成し、Google 検索を可能とした

けることがほとんどない。よって、市内タクシー事業者と提携したオンデマンドバスを併用してインバウンド対策を強化することは考えるべきではないか。	ほか、各施設のホームページにもアクセス手段として掲載しております。 オンデマンドバスについては、令和4年度のあしがるバスのルート・ダイヤ改正の協議の中で、予約や利用需要等に課題があることから、継続的な検討課題として認識しております。 今後は、市外からの来訪者にも利用しやすいあしがるバスとなるよう、31ページや32ページに記載のとおり、バスロケーションシステムの周知やバス情報のオープンデータの利活用を継続し、情報提供の充実に努めてまいります。
---	---

エ 商業施設への移動手段について

意見の内容	意見に対する市の対応
ヨシヅヤを利用する人が多いので、無料シャトルバスを出してくれるよう働きかけてほしいです。	現在あしがるバスは、どのルートもヨシヅヤでの乗降者数が多い状況となっています。そのため、ヨシヅヤを乗り継ぎ地点として設定し、利便性の向上を図ってきました。 また、あしがるバスの運行経費の大部分は税金で賄われていることを踏まえて、引き続きあしがるバスの運行を継続できるよう、移動手段の確保に努めてまいります。

オ レンタサイクルについて

意見の内容	意見に対する市の対応
かつて主要拠点駅に貸出・返却地点があったレンタサイクルは、PR不足で不発になったが、きよすイルミやまつり等での導入は考えられないか。	あしがるサイクルは、清洲城を拠点として、周辺の歴史資源などを巡る周遊型観光ツールとして運営しています。令和7年度には、西枇杷島福祉センターにもサイクルポートを設置し、美濃路周辺の周遊性を高めてまいります。 まつり等の会場までのアクセスは、あしがるバスで確保していきたいと考えております。

カ 道路等の整備について

意見の内容	意見に対する市の対応
道路整備、市内の道路や歩道、橋梁の老朽化が進んでおり、安全性の確保のため改修整保が急務です。	本計画の内容には該当しませんが、点検をもとに策定した道路維持修繕計画及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努めてまいります。